

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月23日

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 17名

※自己評価実施後に人事異動により1名追加にて17名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	5名	8名	2名	1名	16名/16名

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・事前情報の際に課題の明確化をし、支援のポイントをしっかり全職員が把握できるようにする。 ・初期支援に職員間でばらつきが無いように支援の確認を行う。
前回の改善計画に対する取組結果
<p>事前訪問時にご利用者の情報について職員間で共有する場面を持った。複数回の同行訪問を実施し、職員間での情報共有に努めるよう業務調整を実施してきた。実施数は少なかったが同行訪問時に支援内容を共有し疑問点も改善に繋がった。</p>

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5名	10名	0名	1名	16名/16名
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4名	9名	2名	1名	16名/16名
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	7名	8名	1名	0名	16名/16名
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりの為の配慮をしていますか?	8名	5名	3名	0名	16名/16名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ①送迎時など介護者より体調・精神面など自宅での様子の情報を取るようになっている。 ②フェイスシート、ケアプランを通して基本的な情報、生活のニーズを把握し、不明な点は確認してから支援に入り、支援のポイントをスタッフへ伝達できた。 ③事前訪問で本人、家族との関係を作り、安心感を持って頂けるよう努めた。 	

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ①認知症の方のサービス移行時、環境の変化に伴い不穏状態、帰宅の願望に対して想定外の行動となることがあった。その対応に苦慮しご家族の心配要因になったと考えられる。 ②性格や生活習慣等の細かな情報の把握も甘かった。職員間でも情報把握に差があり、伝わり方も不十分だった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>初回利用前に事前の情報確認を昼礼を通じ、職員全体で共有を図る。 利用開始のタイミングによっては事前に自宅に行く機会を持ち、互いに顔が分かったスタートを調整する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年10月23日
2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	17名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	4名	8名	2名	2名	16名/16名

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・経過紙に記録した思いを職員間で共有し、日々の支援の中で実践に繋がられるよう検討を行う。 ・日々の関わりに活かせるコミュニケーション技法について接遇の学びを行う。
前回の改善計画に対する取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・にやりホットの記録紙を設け、ご利用者の良かったところ、楽しそうにしたところを記録する書類を作成した。 ・接遇のリーダーを決め、職員の接遇の良い所、悪い所を職員間で共有し、より良い接遇が行えるよう取り組んだ。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	4名	5名	6名	1名	16名/16名
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	5名	3名	8名	0名	16名/16名
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々の関わりができていますか?	4名	3名	7名	2名	16名/16名
④ 実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	4名	6名	4名	2名	16名/16名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ①日々の関わりの中から気づき、本人からの発信(希望、困りごと)を記録に残し、後に情報共有から解決への話し合い、対応へとつなげる事が出来た。 ②ケアプランを通して当面の目標を把握出来ている。 ③本人の「～したい」が実現できる、出来ないに関わらず寄り添う事を軸に支援出来た。 	

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ①暮らしの情報ソースの活用が不十分だった。 ②記録媒体がタブレットに移行し「想い」などの記載がされにくい傾向があった。 ③「～したい」への対応が一部のご利用者となっている。 ④本人と家族のニーズが異なることがあり、本人のニーズが反映されにくい。 ⑤ケアプランの理解、把握不足。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>本人より意見や気持ちの聞き取り、確認する場を設ける。聞き取った内容や本人の「～したい」を職員間でしっかりと把握する。聞き取りを行った際に把握した情報は、ご利用者の担当が「暮らしのかかわりシート」の記入に努める。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年10月23日
3. 日常生活の支援	メンバー	17名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	4名	3名	8名	1名	16名/16名

前回の改善計画
新たな一面が見れるように、ご利用者の生活歴を知れるような関わりを持っていき、暮らしの情報シートを活用し、職員間で情報を共有しコミュニケーションに活かす。
前回の改善計画に対する取組結果
「暮らしのかかわりシート」の見直しを行うが、継続的な記入に至っていない状況があった。記録媒体がタブレットになり、記録の効率化も図られているので、合わせて日々の記録以外の情報も記録しやすい工夫が必要だと考えられる。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	2名	2名	8名	4名	16名/16名
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	7名	9名	0名	0名	16名/16名
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	5名	5名	5名	1名	16名/16名
③ 本人の気持ちや体調の変化に気付いたとき、その都度共有していますか?	6名	7名	3名	0名	16名/16名
④ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5名	9名	2名	0名	16名/16名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること
① 日々のタブレット記録、昼礼を基本とし、細かな変化、情報共有、そのあとの対応は意向を踏まえ、的確にスピード感をもって出来ており、意識を高く持っている。	
② 本人への負担感の配慮をし楽しみ、役割作りし意欲向上へと繋げている。	

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること
① 「以前の暮らし方」の情報不十分である。② 「暮らしの情報シート」の活用が出来ておらず、情報が増えて行かない。③ 支援内容において臨機応変な部分はスタッフ間で差がある。また統一しきれていない部分も見られる。	
④ 記録媒体がタブレット端末に移行したことから、簡素化が進み内容も介助内容に留まることが多い。本人の気持ち、潜在的な汲み取り、記載が不十分となる。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
タブレットの記録は簡素化がメリットだが、記録に支援したことなど決まった内容だけではなく、本人をしっかり観察し、表情や様子を記録に残し、異変に気付けるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年10月23日
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	17名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2名	5名	4名	5名	16名/16名

前回の改善計画	・ミーティング時に毎月1～2つの社会資源について、「どのようなものが、どのように利用できるか」学びを行う。
前回の改善計画に対する取組結果	ミーティング時に毎回社会資源の紹介が行えなかった。 ご利用者の状況により社会資源を利用する際に内容の確認が行え、職員間の理解も得られている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	5名	6名	4名	1名	16名/16名
② 本人と、家族・介護者や地域との関係がきれないように支援していますか?	3名	6名	6名	1名	16名/16名
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	5名	3名	7名	1名	16名/16名
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2名	5名	5名	4名	16名/16名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること
①生活の中での困りごとをその都度、制度や社会資源の活用を検討し、不足部分を補う事が出来た。 ②日々の関わりの中から、人生の背景やこだわりなどの把握に努め支援出来た。	

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること
①本人の暮らしを支える社会資源を全て把握できておらず、特に他地域の民生委員の把握に乏しく、普段からの情報交換が少なかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
毎月のミーティングで社会資源について改めて学ぶ機会を持つ。 地域との関わりを持つためにセンターでの地域啓発活動のミーティングに担当以外も参加する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月23日

5. 多機能性のある柔軟な支援

メンバー 17名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	6名	9名	1名	0名	16名/16名

前回の改善計画
・経過記録の書式に表情、言動、気持ちなどを記録できるよう変更し、日々の記録に残し、職員間で共有できるようにする。
前回の改善計画に対する取組結果
記録端末がタブレットに切り替わり、記録方法も効率が良くなった反面、文章として残す部分の考え方にばらつきが見られている。小規模事業所全体で記録方法の共有を図っている状況もあるので、なぜ記録するのか、分かりやすい記録になるように話を進めている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 自分たち事業所だけで支援しようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	4名	9名	2名	1名	16名/16名
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	9名	6名	0名	1名	16名/16名
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有する事ができていますか?	7名	8名	1名	0名	16名/16名
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	7名	9名	0名	0名	16名/16名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること
①本人の総合的な状態に応じサービスを提供し、その日の状態やニーズに合わせても対応はできる限り柔軟に提供出来ている。ミーティング時に状態変化の共有を行い、サービス内容が現状に合っているか見直しをしている。	
②タブレット端末により重要度の高い情報の把握が落ち度無く出来ている。	

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること
①表情や気持ちの記録が不十分だった。	
②社会資源や転倒リスクの検討が後手になってしまい、日々関わる中で生活全般への危険予測が不十分だった。	
③本人の行動の理由を考え、検討することが出来なかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
日々の利用者の変化を昼礼で共有を行い、希望する支援、必要な支援を洗い出し、実践を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月23日

6. 連携・協働

メンバー 17名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？	3名	8名	3名	2名	16名/16名

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者がどの事業所や社会資源と繋がりがいいのかを整理を行う。 ・開催可能な行事がある際にはご利用者と一緒に参加する。
前回の改善計画に対する取組結果	<p>コロナ禍が明けたが、まだ積極的な地域との関わりは持っていない。センター全体で地域への情報発信に向けての啓発活動を検討している。</p> <p>積極的に社旗資源を取り入れるよう職員の理解も進んでいる。連絡なども行え、連携が図れている。</p>

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？	4名	3名	2名	7名	16名/16名
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1名	2名	4名	9名	16名/16名
③ 地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？	2名	3名	3名	8名	16名/16名
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1名	1名	1名	13名	16名/16名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること
①事業所として関係機関との連携は出来ており、一職員が必要に応じて連絡を取ることが出来る。タブレット端末私用によりフェニックスネットを通じて情報交換がスムーズに出来ている。 ②立て看板や広報誌の充実を図り、センターの取り組みを発信出来ている。 ③ケアマネジャー(管理者)が主で会議等に参加している。	

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること
①コロナ感染症が5類になったとはいえ、地域との交流は以前のように戻ってはいない。センターの行事も地域への参加を強く打ち出せていない現状がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
福祉用具や訪問看護、包括支援センターなどの事業所・機関との連携、報告がスムーズに行えるように職員全体で関わりを持っていく。 地域のニーズを把握し、広報、立て看板などサポートセンターの啓発活動を職員全体で実施していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年10月23日
7. 運営	メンバー	17名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	5名	6名	4名	1名	16名/16名

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・職員の意見を発信しやすい様な環境を作る。 ・地域の方と話しやすい関係を作れるように日々の関わりを積極的に行っていく。
前回の改善計画に対する取組結果
<p>職員間で昼礼やミーティング等で情報共有を行い、疑問点などを改善できるように取り組んできた。共有ノートへの記載をタブレットへ切り替えた。ようやく浸透している状況もあるので、写真なども活用しながら上手く共有できる媒体としたい。</p> <p>地域啓発活動を開始したので、今後積極的な関わりを持つ計画に移っているので実行できるようにした</p>

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 事業所の在り方について、職員として意見を言うことができますか?	4名	6名	4名	2名	16名/16名
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5名	5名	4名	2名	16名/16名
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3名	6名	4名	3名	16名/16名
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と共同した取り組みを行っていますか?	2名	3名	6名	5名	16名/16名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ①職員1人ひとりがサービス向上の為、キャリアなど関係なく意見交換が出来る。 ②介護者や地域の方からの意見はスピード感をもって説明、対応に努めている。 ③運営推進会議を通じて意見をいただくことが出来、地域からの介護相談も見られている。 	

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ①業務のやり方やサービス内容の検討に置いて全員の意見交換が不十分であり、一部の意見が反映することがある。 ②送迎、訪問の時間がニーズに添えない場合があり、家族から要望を頂く事がある。 ③地域の困りごとを把握しきれていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>職員自身が自事業所のサービス内容、加算の内容について把握し、改めてサービスについて学びを深める。</p> <p>運営推進会議への参加、会議録の熟読を行い、地域の状況把握に努める。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月23日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 17名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	7名	5名	3名	1名	16名/16名

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・職員個々の学びたいことを確認し、学びを深められるよう研修などの機会を設ける。 ・職員間での危険認識の水準を合わせられるように新しく作成したひやりはつの書式を活用の継続を行う。
前回の改善計画に対する取組結果
<p>職員個々の学びたい事を確認した上で、研修の機会があった際には声をかけ参加を促した。またミーティング時には研修内容を検討し、学びの場を設けていた。 ヒヤリハットの新しい書式も定着しているが、書く職員に偏りが見られてしまう。</p>

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか?	4名	4名	6名	2名	16名/16名
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか?	1名	6名	1名	8名	16名/16名
③ 地域連絡会に参加していますか?	1名	1名	1名	13名	16名/16名
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか?	5名	8名	1名	2名	16名/16名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること
①ひやりはつの記録を記載しやすくなったことで記載が増え、気づきの視点の共有リスクの掘り起こしになっている。ミーティングで再発しているものは検討している。	
②外部研修への参加により知識を深める事が出来た。	
③内部研修は事業所ミーティングにて多種多様な物を扱い知識を深めている。	

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること
①ひやりはつと記載が特定の職員になっている傾向が見える。	
②外部研修の参加が出来ていない。	
③事故の再発防止への対策が継続できているかの確認が不足している。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ヒヤリハット・にやりはつの記録を継続して行い、職員間での意識の水準を合わせ、様々な要因へのリスクマネジメントを行う。 目標値「1週間に1回はヒヤリハット・にやりはつの記録を行う。」	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月23日

9. 人権・プライバシー

メンバー 17名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	4名	7名	3名	2名	16名/16名

前回の改善計画
・日々の関わりに慣れが出ないように、一言が虐待に繋がることを意識切るように、定期的に接遇や虐待に関しての研修を行う。
前回の改善計画に対する取組結果
接遇の取り組みを持つことで声掛けの意識も高まり、不適切に繋がるような言動にならないよう注意を払った。 プライバシーへの配慮も行っていたが、一部配慮に欠けていたような場面もあったかもしれないので昼礼時など注意して行く。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 身体拘束していない	15名	1名	0名	0名	16名/16名
② 虐待は行われていない	14名	2名	0名	0名	16名/16名
③ プライバシーが守られている	10名	5名	1名	0名	16名/16名
③ 必要な方に成年後見制度を活用している	4名	7名	1名	4名	16名/16名
④ 適正な個人情報の管理ができています	7名	8名	1名	0名	16名/16名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること
①接遇の良い点・悪い点を確認できるプロジェクトを通して言葉使いなど不適切ケアへの意識が高まった。	
②個人情報の管理について、施錠、暗証番号、チェック体制の構築が適切に行えている。	
③身体拘束、虐待は研修を定期的実施し知識の定着を図っている。	

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること
①排泄への声掛けなどプライバシー配慮に欠けている場面があった。	
②申し送りの際に他者へ聞こえる環境である。	
③成年後見制度の知識がない。	
④スピーチロックに繋がる言動があった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
接遇の改善への効果も表れているので接遇リーダーを設置する接遇対策を今年度も継続して行う。 プライバシーに対しての意識付けを昼礼やミーティングで確認する機会を持つ。	